

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 69.4%, 県 73.7%)

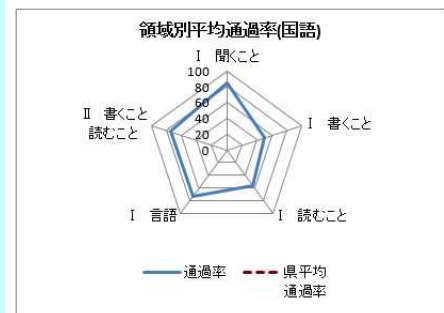
対県比

94%

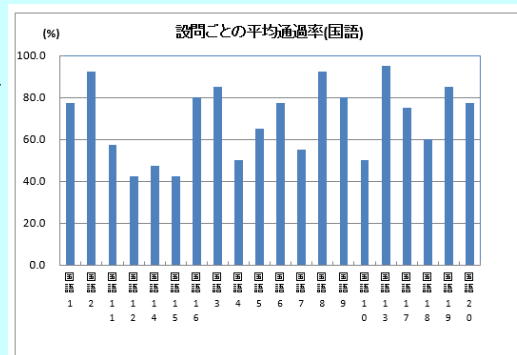
全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



A問題

本校 80.0%  
全国 79.4%  
県 80.1%

B問題

本校 44.7%  
全国 51.0%  
県 50.9%

国語 A 問題では 80.0%, 国語 B については, 44.7% の通過率となっている。この結果から, 「主として知識」を問う問題については, ほぼ定着していると考えられる。一方, “主として活用する問題”については, 「本や文章から, 目的に応じて必要な情報を読み取る」問題に取り組みせる必要がある。昨年度より「I 書くこと」は, 問いに対する答え方をくり返し学習した結果改善がみられた。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比

97%

重点課題

- 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査  
◎「叙述の仕方の確認」が, 十分理解できていない。22.5%の生徒が, 述語に対する適切な主語を補うことができない。また, 5.0%の生徒が「二文に分ける」問題に対応して答えていない。
- 【課題2】全国学力・学習状況調査  
○「本や文章から, 目的に応じて必要な情報を読み取ること」ができていない。(通過率38.1%【県:51.5%】)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査  
◎問題を読んで、「答え方」を意識させる指導の継続  
「述語」に対応する「主語」は何か考えさせる。
- 【課題2】全国学力・学習状況調査  
○「文脈における語句の意味を的確に捉えさせる」ために, 語句の意味をまず確認する。そして, この場面ではどんな意味を表すのかを考えさせる。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年休み明けテスト			1年生 期末テスト		3年生 H26「基礎・基本」	1年生 学年末テスト
目標値	44%			44%		45%	45%
実施後数値							
全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生中間テスト		2年生 期末テスト		2年生 H26「全国学力」	2年生 学年末テスト
目標値		39%		39%		40%	40%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 61.3%, 県 70.2%)

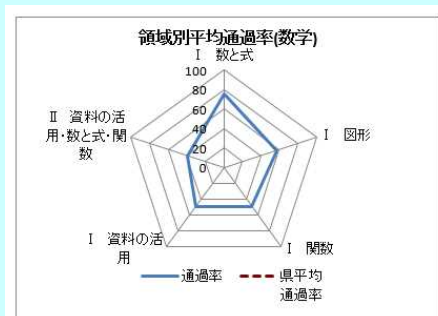
対県比

87%

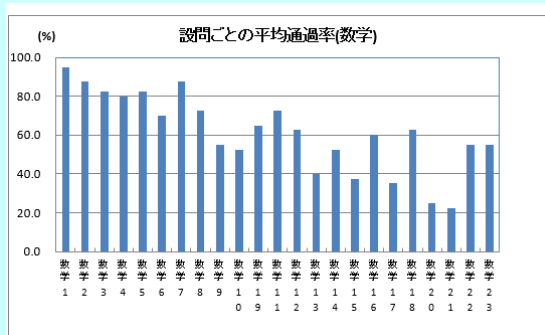
全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



A問題

本校 63.9%  
全国 67.4%  
県 68.4%

B問題

本校 57.1%  
全国 60.5%  
県 59.8%

数学 A 問題では 63.9%, 数学 B については, 57.1% の通過率となっている。4 領域については, ばらつきがあるものの基礎的・基本的な学習は全体として, 少しずつ定着していると考えられるが, 関数領域のグラフの特徴を事象に即して解釈し, 結果を改善して問題を解決する方法を説明することに取り組む必要がある。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比

95%

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ◎ 資料の特徴や傾向を表す数値としての「最頻値」の意味とその必要性を十分理解していない。また, 無回答率も高い。  
(通過率 35.0% 【県: 51.8%】)

【課題2】全国学力・学習状況調査

- 文字を使って整数の性質を説明することができていない。また, 予想する整数の性質を十分理解できていない。  
(通過率 52.4% 【県: 64.6%】)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ◎ 日常生活を題材とした課題を取り上げ, 最頻値の求め方だけに重点をおくことなく, ヒストグラムや度数折れ線と対応させながら理解させ, 問題場面に即して丁寧に指導していく。

【課題2】全国学力・学習状況調査

- 文章から数量関係をつかみ, いろいろな数量を式に表すのは簡単ではないので, 操作活動を通して, 規則性に気づかせ, その規則性を式に表すことを丁寧に指導していく。また, 具体的な数を代入して, 考え方が正しいことを確認する。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生休み明けテスト			2年生 H26「基礎・基本」	1年生 H26「基礎・基本」	1・2年生 学年末テスト
目標値		40.0%			46.0%	50.0%	50.0%
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間テスト		2年生 期末テスト		2年生 H26「全国学力」	2年生 学年末テスト
目標値		55.0%		55.0%		60.0%	60.0%
実施後数値							

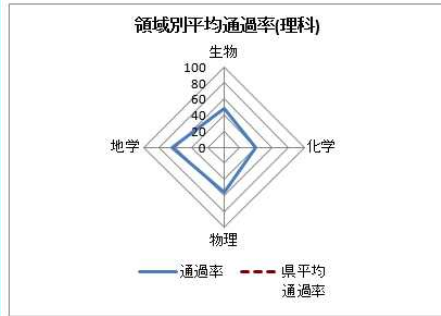
# 指導方法等の改善計画について [理科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 51.3%, 県 55.0%)

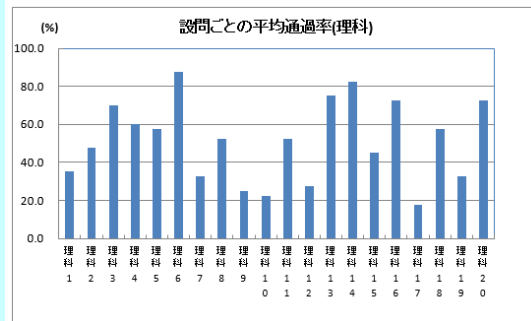
対県比 93%

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



○全体的な傾向について  
理科の結果において、タイプⅠは56.9%、タイプⅡは42.8%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容について課題があることがわかる。

○昨年度の課題への取組の成果と課題  
昨年度は実験技能や作図について課題があった。そのため、視覚教材を用いて理解させる工夫を行った。また、基礎的・基本的な内容について課題があることから、ドリル学習など繰り返し復習をして力をつけていく学習を行った。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 95%

## 重点課題

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

### 【課題1】

食塩水を冷やすことによって再結晶ができない理由を「溶解度」と「飽和水溶液」の2語を用いて説明する問題についての通過率が低い。4-(3)【通過率22.5% (正答率0%, 準正答22.5%, 無答率32.5%)】

### 【課題2】

音の実験をもとに音の高さを決める要因を答える問題の通過率が低い。7-(2)【通過率17.5%】

### 【課題1】

基礎的な用語の理解ができていないことから、考えることもできなかったため、無等率が高い。このことから、基礎的な用語や知識を身に付けさせるため、ドリル学習など繰り返し復習をして力をつけていく学習を行った。また、視覚教材を用いて視覚的にも理解できるようにする。

### 【課題2】

この実験結果からわかることとこの実験結果ではわからないことを分けて考えさせる必要がある。実験ごとにわかること・わからないことを確認しながら実験を指導していく。

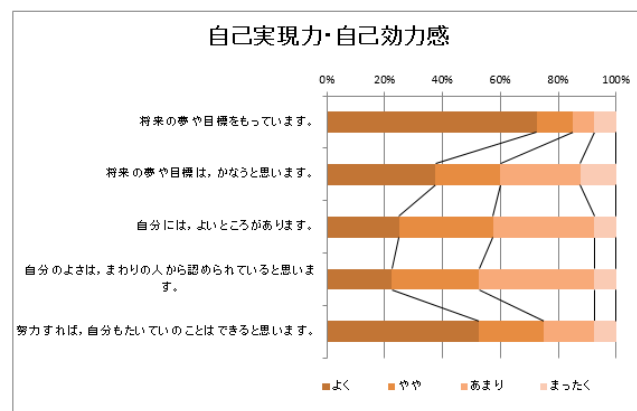
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1・2年生 休み明けテスト				2年生 H26「基礎・基本」	1年生 H26「基礎・基本」	1・2年生 学年末テスト
目標値	55.0%				55.0%	50.0%	60.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1・2年生 休み明けテスト				2年生 H25「基礎・基本」	1年生 H25「基礎・基本」	1・2年生 学年末テスト
目標値	55.0%				55.0%	50.0%	60.0%
実施後数値							



# 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

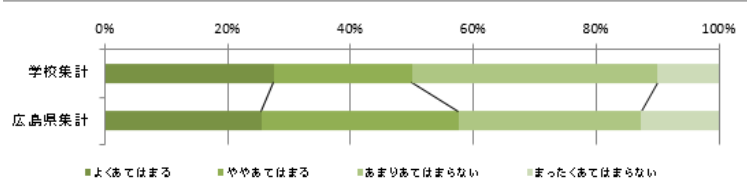
## (1) 生活・学習



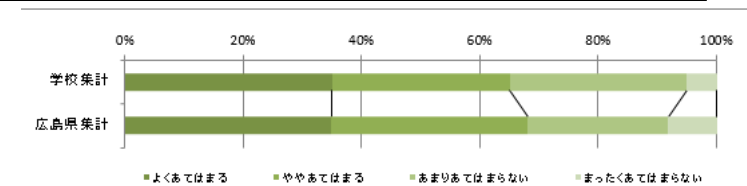
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
自分のよさはまわりの人から認められていると思うと感じている生徒が52.5%と低い。	行事や授業中において生徒指導の3機能を活用し、自己を認め、他者を認める活動を行いながら、共感的人間関係を作ることで、肯定評価をあげる。	2	55	生徒アンケート調査	3学期		

## (2) 教科

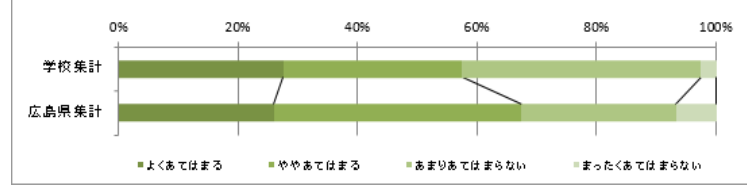
国語の授業では、わからないことばや漢字は辞書を使って調べています。



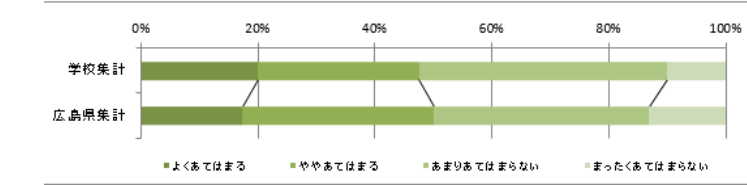
数学の授業では、自分の解き方や考え方の説明をノートに書いています。



理科の授業では、観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり、記述したりする方法について学んでいます。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業では、わからない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。」が50%と県平均より少ない。	授業でわからない言葉を、辞書で引く場面を、今まで以上に増やす。また、調べた言葉を「意味調べプリント」に継続的に書いていく。	2	60	生徒アンケート調査	3学期		
数学	「自分の解き方や考え方の説明をノートに書いています。」の項目の肯定的評価が65%と県平均より低い。	ワークシートに自分の考え方を記述させる箇所を設定する。また、授業の中で自分の考え方を説明する場面設定を増やしていく。	2	70	生徒アンケート調査	3学期		
理科	「観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり、記述したりする方法について学んでいます。」の項目が県平均よりも低い。	実験ごとに表やグラフに結果を記入させる。また、実験ごとに100字まとめを行い、わかったことを記述させる。	2	60	生徒アンケート調査	3学期		
英語	「聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。」の肯定的評価は高いが、「よくあてはまる」評価が県平均より低い。	単元のリスニング時や音読時にメモを取らせ、わかったことを記述させる場面を作り、発表させる。また、授業の振り返りシートを活用して感想や意見を英文で書かせる。	2	60	生徒アンケート調査	3学期		